

## I T Uトライアスロンワールドカップ エイジ選手権・エイジ部門の参加の皆様へ

### 大会参加にあたっての注意事項

- 大会前に注意事項、及び競技規則を事前に把握しておいて下さい。
- 気象状況等により、競技内容に変更がある場合があります。
- 競技開始後でも、気象状況の急変により、競技の中止または、変更する場合があります。また、緊急時には、競技中であっても競技を中断する場合があります。
- 大会参加にあたっては、競技説明会への出席は必須です。
- 大会参加に際しては、充分トレーニングし、事前に健康診断を受診するなど、体調には万全の配慮をしたうえで参加してください。

### 競技上の基本事項

- 前日の飲酒は控え、睡眠を充分にとってください。体調が悪いと感じたら、無理をせず参加を辞退してください。体調や心身の自己管理はレースを行う上でとても大切です。
- 主催者は、疾病・傷病・その他の事故に際し、応急処置のみを行います。それ以上の責任は負いません。
- 安全管理上、審判員または医師・看護師・救護スタッフがレース続行不可能と判断した場合は、競技者に対して競技を中止させることがあります。
- 体調の悪い時は決して無理をせず、リタイアする勇気を持つ事も必要です。
- 大会のコース図を確認し、自分自身が走行するルートやトランジションの位置等を把握して下さい。
- 各種目における周回数は選手自身が責任を持って管理し、競技してください。周回不足は未完走となります。
- 競技者は第三者（他競技者、コーチ、応援者など）の援助・助力を受けて競技することはできません。
- エイドステーションなど定められた場所でのみ大会関係者からの援助を受ける事が出来ます。
- 応援の方や競技中でない選手は競技コースに侵入することはできません。

### 競技規則

#### ○共通事項

- 本大会はJ T U競技規則を適用します。
- J T U競技規則により、前面部にファスナーの付いたウェアの着用は禁止です。バックファスナータイプ又は、ファスナーが無い被るタイプのウェアをご着用ください。
- ナンバーシールは、上腕に貼り付けて下さい。またバイク競技時には後ろから、ラン競技時には前からレースナンバーが見えるようにしてください。
- 上半身裸になったり、ウェアを片掛けにして競技を行うことは禁止です。

●禁止事項ヘッドホン、イヤホンを装着して競技を行うことは、審判員やスタッフ等からの指示が聞こえず、事故につながります。また、カメラを装着して競技を行うことは、落下による事故につながります。共に装着を禁止いたします。

●危険・妨害行為は禁止です。バイク競技では、無理な追い抜きなどはせず、相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守るようにしてください。

## ○スイム

●ローカルルールにより本大会はウェットスーツ着用義務とします。スイムスーツの使用はできません。

●ウェットスーツの厚さは、5mm以下でトライアスロン用ウェットスーツ、またはスイム用ウェットスーツで、自分の身体に合った、きつ過ぎないものを必ず着用するようにしてください。

●ウェットスーツのゴム生地製ヘッドキャップの着用を認めます。その際は大会支給のスイムキャップが一番上となるようにしてください。

●スイムキャップを重ねてかぶることは可能ですが、必ず大会で支給したスイムキャップを一番上にかぶるようにしてください。

●ホットクリーム、ワセリン等は大会側では用意していません。必要な方は各自お持ちください。

●ウェーブ毎にスタートします。＊各ウェーブは同じ色のスイムキャップを着用しています。

●1周750mのコースを2周回ります。

●制限時間内にスイム競技を終えることができなかった場合、次の競技に進むことはできません。

●スイムコンディションによっては、制限時間内にスイム1周終了後、2周目をスキップしバイクに移ることを認めます。適用は前日の競技説明会で説明します。

●スキップを認める場合には審判員にスキップする旨を告げる必要があります。

(競技を続けることはできても順位なしになります。)

●本大会にはスイム会場を含め多くのライフガード、医師、審判員ほか、スタッフが配置され、水上、陸上から選手の皆様を見守っています。

●救助が必要となった際は、頭の上で手を振り合図してください。救助にあたります。

●周回時、スイムフィニッシュ時に、審判員他スタッフが体調確認の為に声をかける事があります。

●スイム制限時間内であっても審判員やライフセーバーなどのスタッフが、危険もしくは競技続行が困難と判断した場合、競技中断もしくは競技中止(リタイア)を勧告します。その場合は必ず指示に従ってください。

## ○バイク

●トライアスロン専用バイク、またはロードレーサーのみ出場可能です。

●エアロバーの装着、後輪のディスクホイールの使用は可能です。

●ピストバイク、前後輪にブレーキの装着がないバイクでの出場はできません。

- バイクは、安全に競技で使用できるように事前に必ず専門ショップなどで点検・整備を行ってください。
- 大会当日はメカニックサービスを実施致しますが、簡易な整備のみの対となります。
- J T U競技規則に準じたバイク競技用ヘルメットのみ使用可能です。エアロタイプのヘルメットも使用可能です。
- ヘルメットのストラップに緩みの無いようにかぶり、ヘルメットの前面にレースナンバーシールを貼ってください。
- バイクのレースナンバーが確認できるようバイクフレームもしくは、シートピラーに貼りつけてください。
- 本大会（エイジ）はドラフティング禁止ルールで実施します。
- 追い越し時以外のバイク走行中は、常にキープレフトを遵守してください。
- ドラフティングゾーンは前走者のバイク先端より横3m（左右各1.5m）、後方10mとなります。
- 危険防止のため、競技中は停車しないでください。やむを得ず停車する場合は後方を確認し、左側に寄って停車してください。
- 緊急時には救急車などの車両がコース内に入る事があります。
- 緊急車両通行時にはバイクの一時停止や徐行をしていただく事があります。緊急車両も安全を確認しながら走行しますので、最寄りのスタッフの指示に従い、追い抜き等する事の無いようにしてください。
- ペナルティーを科された選手はラン競技中にペナルティーボックスへ入っていただく事になります。
- ペナルティーボックスに掲示されたレースナンバーを確認し、ランでフィニッシュする前に自主的にペナルティーボックスに入るようにしてください。（審判より選手への指示は行いません）
- ペナルティーボックスに入らないままフィニッシュした選手は失格となります。ご注意ください。

## ○ラン

- コースは常に左側通行です。
- シューズを履かずに裸足のままバイク、ラン競技を行うことは禁止です。

## ○フィニッシュ

- 同伴フィニッシュ、意図的な同着は認めません。
- コースのショートカットは、DNFとなります。
- フィニッシュ時はサングラス、キャップは外すようにしてください。
- レース終了後、計測チップ（アンクルバンド）を回収します。